

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本

科目コード：130024

# 診療補助技術論 I Medical care assistance I

担当教員	木森 佳子、田村 幸恵				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	診療・検査・治療の補助、療養生活				
学習目的・目標	【学習目的】 感染管理技術を共通基盤に安全・正確な診察・検査・治療の補助看護技術を修得する。 【学習目標】 1. 安全で正確な検査・診断・治療場面に必要な感染管理技術を実施できる。 2. 安全で正確な検査・診断・治療過程での多職種連携と看護の役割を理解し、具体的な援助方法を説明できる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1-2	感染管理技術① 1. 検査・診断・治療場面における感染管理とは				
3	感染管理技術② 2. 消毒と滅菌、無菌操作、医療廃棄物の取り扱い				
4-5	検査・診断・治療過程への援助① 1. 診察・診断を受ける対象のアセスメント 2. 診察、 検尿・便、静脈内採血、X線検査・超音波検査・CT・MRI検査、穿刺検査（骨髄・胸腔・腹腔・腰椎）を受ける対象への援助方法				
6-7	検査・診断・治療過程への援助② 3. 治療を受ける対象のアセスメント 4. 麻薬など危険の大きい薬物の取り扱い、吸入、点眼、点鼻、経皮的貼付薬、皮内・皮下・静脈内・筋肉内注射・点滴静脈内注射を受ける対象への援助方法				
教科書	茂野香おる編：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学技術 I・II、医学書院 任和子、秋山智弥編：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術、医学書院				
参考図書等					
評価指標	授業への参加状況（レポート、演習時の態度等）10%と、筆記試験90%で評価する				
関連科目	解剖生理学、疾病・障害論、基礎看護学実習 I・II、薬理学				
教員から学生へのメッセージ	対象の診療・検査・治療が安全・正確に実施されるための技術を学びます。その中には医療事故や侵襲が伴う技術もあります。対象の深い理解と正確で根拠のある実践が求められます。				